

項目	意見要旨	該当ページ	市の考え方
全体	1 生活者の視点から何が必要で、都市計画、土地利用の誘導という視点の中でどのように記述するか検討してほしい。	P22,23	【意見を反映した】 「めざすまちの姿」にめざすまちのイメージを具体的に記載します。また、全体を通して、人々の暮らし等がイメージできる表現に改めました。
	2 もう少し積極性と戦略がほしい。	P18,23,31 ~ 34	【意見を反映した】 「広域的役割」、「めざすまちの姿」、「土地利用」の「商業地」、「工業地」に積極的な表現を加筆、修正しました。 〔項目番号12、13参照〕
	3 人口減少によりゆとりある生活空間が持てるともいえる。ネガティブではなく、ポジティブにとらえたメッセージを盛込んでほしい。	P4,P30	人口については、年齢構成のバランスに配慮することを重視する考え方であり、「ゆとりある住宅地の形成」に向けた考え方を示しています。
序章	4 「住民」と「市民」は使い分ける必要があるのではないか。	P2他	【意見を反映した】 市全体を対象とする場合は「市民」、限定した地域を対象とする場合は「住民」と使い分けをし、全体を整理しました。
今後のまちづくりの視点	5 将来推計人口については、単に人口が減少しているということだけではなく、世帯数は増加しており、世帯構成が変わっていることも併せて書いておいたほうが良い。	P4	【意見を反映した】 将来推計人口のグラフに世帯数の状況を加え、世帯数は増加しており家族構成が変化していることを文章に追加します。
	6 素案たたき台では「ユニバーサル社会」と表現していたが、P.5の『ストックを活かしたまちづくり』では「ユニバーサルデザインへの対応」となっている。変えた理由は何か。	P5,P22	【意見を反映した】 ユニバーサル社会への対応という方向性は変えておりません。『ストックを活かしたまちづくり』では、都市施設や公共建築物の有効活用について記載しているため、ユニバーサルデザインという表現を用いているものです。 全体を通して、表現を整理しました。
市の概況	7 事業所内訳のグラフは、何が言いたいのかよくわからない。構成比が変わっているということを伝えたいのであれば、パーセントのグラフにしてはどうか。	P15	【意見を反映した】 事業所内訳のグラフをパーセント表示にし、それにあわせ文章を修正します。
	8 製造品出荷額については、日本全体、兵庫県全体でみた場合と比べて、尼崎はどうか比較してみてもどうか。	P16	【意見を反映した】 製造品出荷額のグラフを、全国や兵庫県と比較するグラフに変更し、文章を修正します。
都市構造	9 拠点以外の駅周辺はどのような考えなのか。尼崎の財産として活用することが必要ではないか。	P25	【意見を反映した】 拠点以外の鉄道駅周辺について、考え方を追加します。
	10 都市構造のとらえ方やまちの将来像としてどのようにしていくか、引き続き検討してほしい。	-	既にあるストックを活かし質を上げることが今回の都市構造の考え方です。

項目		意見要旨	該当ページ	市の考え方
土地利用	11	写真の並べ方と見出しのつけ方にメッセージ性・意図が感じられない。もう少しはっきりさせた方が良い。	P29	【意見を反映した】 分かりやすいように並べ方、見出しを修正します。
	12	工業地については、立地優勢を最大限に活かし、高める工夫をし、操業環境を戦略的に保全できるようにしてほしい。また、単なるベッドタウンではなく、強い産業を活かした生活についても記載してほしい。	P18,23,34	【意見を反映した】 「広域的役割」に工業地や港湾等産業に関する記載を追加しました。 「めざすまちの姿」の「2」及び「5」に産業に関する記載を追加しました。 「土地利用」の「工業地」に産業の保全に関する記載を追加しました。
	13	高齢者は、日常買い物はどこをするのかということを考え、沿道型商業地の是非も含めて市場や商店街をどうしていくのか、商業についてもう少し言及してもいいのではないか。	P31	【意見を反映した】 今回の土地利用方針では、市場、商店街、スーパーといった活動形態別に方針を掲げるのではなく、土地利用の面から駅周辺、近隣型、沿道型に区分し、地域に密着した商業機能の充実などの考え方を示しています。 また、本市では「商業立地ガイドライン」に基づき、地域特性に配慮した小売店舗の規制・誘導を行っているところです。更に、地区計画や特別用途地区により建築物の用途制限を定め、商業環境の保全・誘導を行う取組を進めているところです。利用者の利便向上に向け、今後もこうした取組を進めていきます。
その他	14	森永工場跡地の大規模開発により子育て層が増え、小学校や校区の問題が発生しています。こうした観点からの記述はないのか。	P35	工場跡地において大規模な土地利用転換が見込まれる場合の対応について記載していますが、小学校の問題等については、校区の変更などによる対応が基本になると考えており、適正規模化という視点を基に検討していきます。
	15	空き地や空き店舗の対策は難しいが、その有効活用を図る対応策について記載してほしい。	-	空き店舗の対応については、空き店舗を活用して新規に開業する個人事業主に対して、その経費の一部を補助しているなど、その解消に向けた取り組みを行っているほか、空き地については、住環境整備条例により適正管理を指導しています。有効活用等本計画への記載については困難と考えていますが、別途検討する必要があると考えています。
都市交通	16	放置自転車については「民間事業者と協力して～」となっているが、自転車駐車場の整備を加速していく表現にしてほしい。	P45	【意見を反映した】 放置自転車対策について「自転車駐車場の整備を促進します」を「推進します」に改めます。

項目	意見要旨	該当ページ	市の考え方
私たちが できること	17 「私たちができること」というコラムは具体性がなく、スローガンのような内容となっている。市民が活動する際に使える制度の紹介や、実際に活動をしている団体の紹介を掲載した方が良いのではないか。	P28,37,47,53,66,72	【意見を反映した】 「私たちができること」の写真の説明文を取組事例を表す内容に変更しました。取組事例を含めた具体的な内容については啓発パンフレットに記載します。具体的な制度については主だったものを、参考資料として記載する予定です。また、市民・事業者の活動については、各地域別まちづくりの2ページ目で一部を紹介しており、更に詳しい内容については、資料編に掲載する予定です。
まちづくりの 推進	18 フロー図で市民と事業者が一緒になっているが、役割は微妙に異なるはずである。市民には町会や社協があるが、事業者は個別に意見を吸い上げるのが困難である。どういう連携の仕方を想定しているのか。	P81	フロー図の内容では重なる部分が多く、分けることは考えていませんが、事業者とのアプローチについては、商工会議所など既存の団体に対し都市マスの周知を行い、協力をよびかけることを考えています。
	19 「PDCAサイクル」という表現は市民にはなじみがないので、用語説明を追加してほしい。	P82	【意見を反映した】 用語説明を追加します。
	20 PDCAには、業務ベースで行うものと市民参加で行うものがあるため、2つを分けて、適宜ではなくきちんと評価の時期を決め、図に記載してほしい。	P82	【意見を反映した】 毎年実施する事務事業ベースのPDCAは庁内において業務ベースで行い、中間見直し及び10年後の見直しで行うPDCAは市民の参加を想定して実施する考え方がわかるよう図を変更します。
	21 5年に1回の見直しは、少し長いように思う。	P82	進捗状況の点検は毎年実施しますので、その中で状況に応じ、部分修正を含め適正に対処することを考えています。
	22 都市計画マスタープランで描いたものの実効性をどのように担保していくか、時間軸や目標設定が必要ではないか。	P83	【意見を反映した】 現在見直し作業を進めている部門別計画（緑の基本計画、都市計画道路網の見直し、地域防災計画、環境基本計画等）とは相互に調整しながら作業を進めており、今回の都市計画マスタープランの内容が反映されたものとなっています。今後も、関連計画については調整しながら作業を進めます。 施策単位としては総合計画において目標値を設定しており、事業単位としては事務事業評価において目標値を設定しているため、これらの指標を参考に進捗状況を把握する考えであり、都市計画マスタープランにおいて目標値の設定はしません。また、総合計画で設定している指標と本計画のめざす姿との関係について、追記します。
	23 計画の推進に際しては、職員個人ではなく、組織としてどう連携して実現していくかを検討してほしい。	-	今後、組織間の連携、事業進捗の把握の方法について検討します。

項目		意見要旨	該当ページ	市の考え方
まちづくりの推進	24	PDCAは一番最後(地域別のあと)でもいいのではないかと。都市計画マスタープランと事業が常に関連付けられるようきちんと進捗点検をしてほしい。	P82	全体の方針に対する進め方を先に示し、具体的な地域別まちづくりについて示すという流れになっています。
	25	この地域区分では、日常の暮らし、生活圏のイメージがとらえづらい。特に高齢者にとっては馴染みがない。	P86	地域区分は、幹線道路、河川などの地形地物を基本に、土地利用(用途地域)など都市計画的な観点から設定したものです。行政区や小学校区を基本として地域住民を主体としたまちづくり活動が行われており、具体的な施策については、こうした地域コミュニティを基礎生活の単位として考える必要があります。
地域別まちづくり	26	県立病院の移転に伴って、搬送路の確保など関連した道路整備などの記述は必要ないのか。また、跡地の活用についての記載はないのか。	-	県立病院については、計画内容が確定し工事着手しており、搬送路については、既存の五合橋線(幅員18m、4車線)で対応可能と考えています。また、跡地利用については、土地を所有している県と市が調整しながら、周辺環境とも調和した適切な活用の検討を進めていく考えです。
	27	城址公園は「広域拠点にふさわしい公園として整備」するのではなく、「歴史性を重視した史跡として整備」するのではないかと。	P123	【意見を反映した】 ご意見を受けて、「歴史的建築物が多い地域であることを踏まえ、周辺と調和した」の文言に修正します。
現行計画評価	28	計画期間内に改定する理由は、現行計画のどこに問題があって、どういう状況の変化によって必要となったのか。また、現行計画の評価・総括は行ったのか。	-	素案たたき台を公表する際、現行の都市計画マスタープランの評価を行い、本審議会にも報告しております。当時の資料を配付します。

項目		意見要旨	該当ページ	市の考え方
その他	29	関係課も都市計画審議会に出席する必要があるのではないか。	-	今後も、前回と同様、必要に応じて関係課に出席を求めます。また、出席していない関係課に対しては、庁内の検討会議等を使いながら連携、情報を共有していきます。
	30	公共下水道の整備率はほぼ100%だが、先日の豪雨により、多数の箇所が浸水した。これまでも同様の降雨があったがこれほど浸水したことはない。どのような原因によるものと考えているか。	-	近年の主な浸水被害は、平成11年6月と平成18年8月に発生しています。平成11年6月は、本市西南部に1時間当たり79mm、平成18年8月は、北東部に1時間当たり88mmの降雨があり、雨水の排水能力を超える大雨であったことからそれぞれの地域で床上・床下浸水が発生しました。これに対して、今回の8月25日の集中豪雨については、本市のほぼ全域で現在の下水道整備水準である6年確率降雨を超える大雨が観測されており、浸水被害も市域のほぼ全域の各所で発生したものと考えられます。また、側溝などのごみ等のつまりにより部分的な道路冠水が発生したものと考えています。
意見募集	31	現在6地区で説明会を実施しているということだが、その内容は、素案の説明か、審議会での意見についても説明しているのか。また、団体から個別説明の要望はあったのか。	-	概要版を元に、素案の内容について説明をしています。個別説明は1団体から要望がありました。
	32	説明会の参加人数は。	-	中央地区2人、園田地区3人、立花地区2人、武庫地区5人、大庄地区1人、小田地区4人の合計17人です。
	33	広報はどのように行ったのか。	-	市報では、通常パブリックコメントは3行程度の小さな扱いですが、今回は3分の1ページを割いています。あとは、ホームページです。また、前回素案たたき台の公表の際は参加人数が非常に少なかったため、その後様々な会合に寄せていただき都市マスの説明を行った中で、興味を持っていただいた団体に対し、ファックスやメールで開催について情報提供をしています。